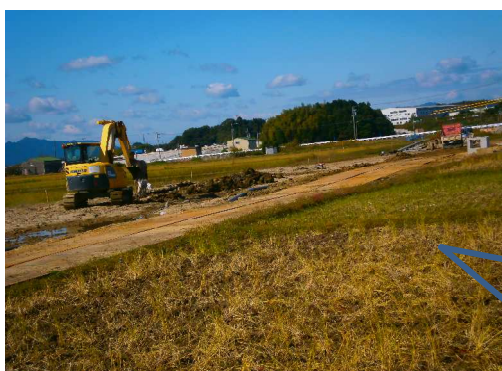


徳田の歴史-24

戸関遺跡(とせき)

徳田北方田園地帯を東西に横切り、中勢バイパスと直結する磯山バイパス新規建設工事で調査発掘(R2年5月～)されつつある遺跡である。場所的には伊勢鉄道徳田駅より北に約百メートルの地点と磯山バイパスの交差する付近(西側)約一反位の田んぼ(字名:戸関)である。この地域は現在の中ノ川左岸、及び堀切川にも近接し、稲作に適した良質な広い土地だった事と思います。



前方小高い森付近は高井遺跡
その後ろ側は中勢バイパス。
左側が津方面
手前重機付近が戸関遺跡



戸関遺跡でいろいろな形で
試掘調査されている

この遺跡は高井遺跡(平成時代の始め頃発掘調査済み)の極近くであり場所的にはほぼ同条件のところです。

高井遺跡からは緑釉陶器、青磁白磁の陶器、この他にもたくさんの陶器片等出土されていることは市の文献でもご存じだと思います。

又別に田んぼの改良工事も同時に進められており、更に良い皆さんの興味の湧くものがたくさん出土される事を共に期待したいと思います。

出土されましたら再度情報等追加させていただきます。